

新公立病院改革プラン 令和元年度実績報告（浜松市リハビリテーション病院）

1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化について

（医療機能等指標に係る数値目標に対する実績）

医療機能等の指標	令和元年度 目標（A）	令和元年度 実績（B）	増減 B-A	達成率
手術件数	380人	353人	△27人	92.9%
紹介率	30.0%	32.4%	2.4ポイント	—
リハビリ件数	530,000件	529,948件	△52件	100.0%
その他				
患者満足度	96.0%	97.2%	1.2ポイント	—

- 手術件数は、新規入院患者数が伸びなかったことが影響し、目標値を下回った。
- リハビリ件数については、目標値に52件届かなかったが、効果的かつ効率的なリハビリテーション医療を提供し、セラピスト等職員数を増やし、患者一人当たりのリハビリ提供単位数増加を実現した。
- 患者満足度では、高い評価を得ることができた。地域ニーズに応えられる入院体制の整備と、安全で質の高い医療の提供に努めた。

2 経営の効率化について

（経営指標に係る数値目標の実績に対する実績）

収支改善に係る指標	令和元年度 目標（A）	令和元年度 実績（B）	増減 B-A	達成率
経常収支比率	99.6%	102.3%	2.7ポイント	—
医業収支比率	89.4%	92.8%	3.4ポイント	—
経費削減に係る指標				
給与費対医業収益比率	77.0%	77.4%	0.4ポイント	—
材料費対医業収益比率	8.8%	7.7%	△1.1ポイント	—
収入確保に係る指標				
入院患者延べ数	76,860人	77,955人	1,095人	101.4%
入院診療単価	34,624円	37,613円	2,989円	108.6%
外来患者延べ数	43,740人	42,271人	△1,469人	96.6%
外来診療単価	7,510円	7,631円	121円	101.6%
病床利用率	93.3%	94.7%	1.4ポイント	—
経営の安定性に係る指標				
医師数	16人	17人	1人	106.3%
企業債残高（百万円）	5,167百万円	5,194百万円	27百万円	99.5%

- 経常収支比率、医業収支比率においては、専門的かつ高度なリハビリテーション医療を提供し、リハビリ提供単位数の増加等により医業収益を確保し、また経費の削減に努めることで、目標値を上回ることができた。
- 収入確保については、高い病床利用率を確保し、入院診療単価、外来診療単価ともに目標値を上回ることができた。これは、入院では通年で回復期病棟入院料1および体制強化加算を算定したこと、外来ではボトックス治療等のサービス提供ができたことによるもの。

3 再編・ネットワーク化について

- 西部構想区域内では、特定機能病院及び地域医療支援病院における二次・三次救急医療体制等が整備され、病院が連携し、それぞれの機能を有効に発揮している。

4 経営形態の見直しについて

- 指定管理者（聖隷福祉事業団）により、専門的かつ高度なリハビリテーションを提供できていること、効率的な運営が行われていることから、引き続き指定管理者による運営を行っていく。